

令和5年第13回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和5年12月13日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 田島 雅子 三尾 和樹 橋本 あみる 山本 亮

事務職員 三宅事務局長・氷室教育次長（兼）学校教育課長・河合事務局次長
（兼）教育企画課長・松井文化スポーツ部長・吉村文化スポーツ部
次長（兼）文化振興課長（兼）市史編さん室長・松原教育研修所
長・伊藤施設計画推進室長・安江幼児教育課長・青木発達支援セン
ターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・園原阿
木高等学校事務長・渡邊文化スポーツ部対策官・早川生涯学習ス
ポーツ課長（兼）少年センター所長・青木図書館長（兼）蛭川済美
図書館長・小池中央公民館長・宮嶋鉱物博物館長（兼）東山魁夷心
の旅路館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	報第9号	中津川市教育支援委員会の結果報告について	承 認
第2	議第40号	令和6年度中津川市教職員定期人事異動方針につ いて	承 認

■教育長 全委員の出席を確認させていただき、ただいまから、令和5年第13回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議といたします。

続きまして、日程第3、教育長報告を行います。前回以降に出席した主な行事を中心に報告します。

1月15日は東濃地区へき地複式教育研究会の発表会が加子母中学校で開催され、出席しました。16日からは年度末教職員定期人事異動に係る各学校長との懇談をスタートし、5日間に分けて行いました。21日は教頭会に、22日は東小の発表会に、23日は市PTA連合会と青少年健全育成推進市民会議が共催した「子育て親育ちシンポジウム」に出席しました。

25日は下呂特別支援学校の創立10周年記念式典に、加子母小中の校長と共に出席しました。29日は市議会12月定例会と坂下中学校の発表会に出席しました。職員の指導力や、子供たちの学ぼうとする意欲の向上などを目指した実践が着実に行われ、参会した職員からもたくさんの質問や意見が出る実り多い発表会になっていました。

12月に入り、4日は東濃地区教育長会に出席しました。5日は県教育委員会幹部の皆さんが福岡小学校に来校され、現地にて施設の特徴等についてご説明しました。8日は8時半から校長会で示達指導を行い、市議会一般質問の初日に、9日はつくしんぼのクリスマス会に出席し、4年目で初めてサンタさんの大役を務めてきました。11日は市議会一般質問の2日目に出席しました。

なお、教育長訪問は前回以降8つの園を訪問し、12月7日に行なった阿木高等学校で今年度の予定を全て終了しました。

続いて今後の主な行事です。明日14日は午前中に教頭会、午後に県教育委員会との人事懇談に出席します。15日は総合教育会議がございます。年末の忙しい時期に申し訳ありませんが、ご出席のほど、よろしく申し上げます。18日は市議会予算決算委員会に、19日と22日は県教育委員会との人事懇談の2日目と3日目に、22日は12月議会最終日にそれぞれ出席します。

1月は、7日に二十歳の集い、10日に消防職員意見発表会、12日に岐阜県都市教育長会役員会などに出席する予定です。私からは以上です。

次に、事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。最初に三宅事務局長、お願いします。

■事務局長 前回以降の主な出席行事について報告します。

1月15日に群馬県大泉町議会の行政視察対応をしました。21日にトナーデリカ様からの寄附受領式、22日に落合・神坂小中学校統合準備委員会、24日

に末松先生とのWEB打合せと幼児教育・保育施設運営協議会、26日に加子母教育の日、28日に四役・部長会、12月1日に付知南小の「みどりの奨励賞」の授賞報告会、5日に県副教育長等の福岡小学校の視察対応と末松先生とのWEB打合せ、8日に校長会、12日にB&G財団会長の視察対応をしました。

次に、教育長訪問等は、11月16に落合保育園と神坂幼稚園、17日に付知保育園、20日に高山保育園と下野保育園、27日に加子母こども園、28日に西幼稚園、12月6日に山口こども園、7日に阿木高校が行われました。この他、研究発表会は、11月15日に加子母中、22日に東小、29日に坂下中が行われました。これで令和5年度の教育長訪問、研究発表会は全て終了いたしました。多くの訪問にご出席をいただき誠にありがとうございました。

次に、12月市議会は、11月29日に本会議初日、30日に一般質問が締め切られ、12月8日と11日に一般質問が行われました。今後は18日に予算決算委員会、22日が本会議最終日の予定です。

教育委員会関係の一般質問は、松崎誠議員から「災害に備えるまちづくり」の中で「学校教育における防災意識の向上について」、田口文数議員から「GIGAスクールの現状について」、田中愛子議員から「小中学校の給食費無償化について」、園原武嗣議員から「農業振興について」の中で「農業教育について」、と4人の議員から質問をいただきました。

今後の予定です。12月14日に教頭会、15日に総合教育会議、18日に花王様からの寄附受領式と落合・神坂小中学校統合準備委員会、19日に市指名審査委員会、20日に幼保管理職候補者試験、21日に定例記者会見、1月7日に二十歳の集い、13日に消防出初式が予定されています。以上です。

■教育長 続いて文化スポーツ部からお願いします。松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

11月15日、全国大会に出場される中京学院大学空手競技、軟式野球競技の激励会が開催されました。19日、第28回常盤座歌舞伎保存会の定期公演が行われ、公演では地元の子供たちなどが熱演し、観客から多くのおひねりが舞っていました。また、坂下出身の歌舞伎俳優市川笑三郎さんの名誉館長就任式も併せて開催されました。笑三郎さんは新作歌舞伎「ルパン三世」の次元役として12月25日まで新橋演舞場に出演されています。

23日、第3回中津川市子育て親育ちシンポジウムが文化会館で開催され、「守ろう！子どもたちの笑顔」をテーマに大湫病院医師の関正樹先生の講演会のほか、関係者によるトークセッションも開催され、良い学びの機会となりました。また、教育委員の皆様にもご参加いただきありがとうございました。25日、中津川セン

ターロータリークラブ様から、110万円相当の児童書や大型絵本などを図書館に寄贈いただきました。26日、第71回市民展表彰式が行われ、約200点の応募作品から7部門別に市長賞、議長賞、教育長賞の授与が行われました。期間中には1162人の来場がありました。また、入賞作品を12月3日までひと・まちテラスにも展示し、芸術に触れていただく機会を新たに設けました。27日、空手の全国大会に出場する小中学生ら5選手の激励会が開催されました。29日、フルートの全国大会に出場する第二中学校3年生の金谷陽乃佳（かなやひのか）さんの激励会が開催されました。激励会の中で生演奏を披露していただき、多くの観客も集まってくれました。

12月1日、プロ野球ドラフト会議にて、広島東洋カープから5位指名を受けた中京学院大学の赤塚健利（けんと）選手から市長に喜びの報告がありました。赤塚選手は身長195cm、体重110kgと恵まれた身体を生かしたストレートでプロでは勝負したいと抱負を語ってくれました。3日、第70回中山道東濃駅伝の開会式が中津川駅前で開催され、一般と大学男子チームがゴールの多治市役所に向けて元気に出発しました。今回は51チームのエントリーがあったそうです。9日、中津川体育協会の社会貢献事業として「ウォーキング・ダンス・陸上教室」が中津川公園で開催されました。元日本代表の陸上選手2名による陸上教室には小学生36名と、ウォーキング教室には高齢者を中心に約70名の参加がありました。10日、第49回東濃歌舞伎大会が東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホールで開催され、東濃歌舞伎中津川保存会など4団体が出演され、迫力の演技に大きな拍手が送られていました。12日、全日本大学軟式野球選手権大会で優勝した中京学院大学軟式野球部の報告会がありました。4年ぶり通算3回目の優勝となります。

今後の予定です。12月15日、国民体育大会カヌー競技で3位に入賞した、杉の子幼稚園職員の加藤哲平さんの報告と、パリオリンピック2024の出場が内定した田中雄己選手が市長を表敬訪問します。田中選手は、国民体育大会カヌー競技2種目で優勝のほか、2023年アジアカヌースラローム選手権大会でも優勝しています。中津川市出身のオリンピックは歴代4人目となります。20日、図書館協議会が開催されます。21日、第2回部活動の地域移行検討委員会が開催されます。

1月7日、令和6年中津川市二十歳の集い「悠～はるか～」をテーマに開催されます。この意味は「長い人生を自分らしく自分の可能性を信じて生きていく」との思いが込められています。対象者は835人となります。参考ですが、昨年が820人、令和4年が875人で、今年は昨年よりも15人ほど多いですが、令和4年の出生数は369人ですので、20年前に生まれた人と比べると500人ぐらい減っていることが分かります。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。
田島委員。

■田島委員 教育長に伺います。学校閉庁が12月28日と1月5日にあるのですが、今年は何回ありましたか。

■教育長 夏季休業中にも学校閉庁日を設けました。冬季休業中も12月28日と1月4日、5日に設け、今年度は全部で年間5日あります。目的は働き方改革の一環です。この間、学校への連絡ができない部分は、保護者等の緊急の連絡は教育委員会で受ける態勢をしっかりと整えています。

■田島委員 事務局長に伺います。11月21日にトノーデリカさんからの寄附受領式とありますが、今日の協議会の次第には、その後の25日のロータリーさんからの記載はあるのですが、トノーデリカさんの記載がないのはなぜですか。

■教育長 三宅事務局長。

■事務局長 21日の寄附の受領式は、トノーデリカ様から恵那どりを寄附いただいた件です。11月20日、27日、30日の3回に分けて、全校で恵那どりを調理して給食に提供させていただきました。

■教育長 田島委員。

■田島委員 文化スポーツ部で、11月26日、市民展の表彰式とあります。200点の応募があったとのことですが、最近応募が少なくなっていると聞いています。いかがでしょうか。

■教育長 松井文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 昨年が213点なので13点減っています。青邨記念大賞展なども減ってきています。市民展については、中津川、恵那というこの辺の人たちばかりの応募ですので、今回減った要因は定かではないのですが、タイミング的なものもあったかと思っています。来年以降はまた巻き返してたくさん出していただけるとありがたいと思っています。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 福岡小学校の完成と県の教育委員会の視察ということがありましたが、県の教育委員会の方々には、福岡小学校の木でできた様子をご覧になってどんな感想を述べられていましたか。

■教育長 当日は、岐阜県教育委員会の堀貴雄教育長もご来校いただける予定でした。ですが、残念ながら急遽いらしていただけないことになり、副教育長がおみえになりましたし、小中学校の一番上の責任者である幸田義務教育統括官、県参与等もいらしていただき、時間をかけて校舎をゆっくり見学していただきました。「大変素敵な、また、デザインや意匠だけではなく、使い勝手にすぐれ、現場の先生方

が非常に使いやすいことを考慮した学校になっていますね」と言っていただき、お褒めをいただいたと思っています。特に学校を建てる際に私たちがこだわってきた「地域の方たちに学校に来ていただいて、一緒に教育にかかわっていただくようなスペースづくり」や、プログラミング等、今、また今後学校に求められる教育機能をきちんと果たしていくような場所づくり、あとは、一般的な学校では校舎の隅に置かれがちな図書館が学校の1階の真ん中にあること等々を感心していただけたと思っています。

また、体育館の2階に学童を入れたことについても、空間の有効な利用のことや、また、多くの学童で雨の日にグラウンド等が使えずに遊び場所に困るという実態があるので、そういった際にも体育館が使えることについては、子供たちにとって、とてもありがたい配慮になっていますね、等々のご意見やお褒めの言葉をいただきました。特に、ここは改善した方がいいというようなご意見はありませんでした。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご質問等がないようでございますので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1、報第9号「中津川市教育支援委員会の結果報告について」提案説明をお願いします。

松原教育研修所長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

山本委員。

■山本委員 保護者への説明で、特別支援や通級のメリットだけではなくデメリットも説明する必要があるということでしたが、デメリットとしては具体的にどういったものが挙げられますか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 例えば、通常学級の小学校6年の子は小学校6年の教科書を使うのですが、特別支援学級では、一人一人のニーズに合わせて学習できるという良さがある一方で、その子の実態に合わせて小学校2年生や1年生まで下がって教科書を扱った場合、当該学年の小学校6年生の教科書の内容については扱うことなく、1年が終わっていくということがあります。

また、中学校の自閉情緒学級では、過半数を担当が受け持たなくてはならないという縛りがあります。特別支援学級の自閉情緒学級に在籍している子の授業を、通

常は専門の教科の先生、国語なら国語の先生が教えるのですが、担任が教えなくてはいけないという決まりがありますので、担任の専門教科以外についても担任から受けなくてはならないということがあります。

また、通級指導教室では、通級での指導を受けている時間は、その子が所属している通常学級の授業を受けられないということがデメリットとして考えられます。

■教育長 山本委員。

■山本委員 児童生徒で教科によってばらつきがある、この教科はよくできるけど、この教科はあまりできないという場合は、どういう指導の仕方になるのでしょうか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 特別支援学級の知的では、できる教科は当該学年の教科書で、できない教科はつまづいているところまで下がって行って扱います。教科やその子の得意な分野に応じて指導できる良さが特別支援学級にあります。

■教育長 田島委員。

■田島委員 特別支援学級は「ひまわり」とか「おおぞら」という名前で書いてあるので、あまり認識できていないのですが、特別支援学級に入らなければいけないときは、診断書が要るのですか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 特別支援学級の自閉情緒学級は、自閉症スペクトラム症の診断書が必要になります。ただ、専門の医師には相談していただきたいのですが、診断名がつかなくても、医師から但し書きで「この子は特別支援学級での学習が適切」とあれば、それを判定の材料としています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 点数での診断と、専門医の対面での診断の、両方を使っての診断ですか。診断名がつかなくても但し書きがあれば、それを参考に入れる場所を考えるとということですが、医師の寄り添い方次第でも変わってくるような気がするのです。先日の関先生の講演を聴くと、寄り添っていらっしゃる部分がすごく強かったのですが、そういう方と淡々としている先生では診断が違ってくるのでしょうか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 できる限りたくさんの情報で一人一人の適切な就学先を判断したいので、W I S K検査を使った点数での診断と医師との対面による診断の、なるべく両方を受けることをお願いしたいところなのですが、特別支援学級の知的では、その子の得意不得意が明確に分かるW I S K検査の結果を一つの大きな視点としていますし、自閉情緒学級では、医師の診断を大きく参考としています。

また、医師一人一人の寄り添い方の違いについてはおっしゃる通りで、課題のと

ころにも書きましたが、一番子供たちを見ている学校の考えを学校には大事にしてもらいたいが、保護者がそれとは違う考えを持っている場合や、医師も診断結果から、この子は通常に戻してもいいのだけどどうしようということが課題としてもあると考えています。学校や教育支援委員会での丁寧な検討を基に、医師の意見だけに偏ることなく判断していきたいと思っています。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 教育研修所長の松原先生の説明がとても良かったと今日思いました。何が良かったかという、教育支援委員会に至るまでのことが多く述べられていたことです。この委員会そのものでは一人一人にかかる時間はそんなにはないのに、一人一人をどうしっかり判定していくのか、私たちも幾度となく聞く場面があったかと思うのですが、今日の説明の中で、そこへ至るまでに各学校で行われる支援委員会の様子や、各保護者、個人が診断を受けたたことをどう考えるか学校と相談するとか、そういったことをご説明いただき、それに今の答弁も含めて、大変よく分かりました。ありがとうございました。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、報第9号については、承認ということによろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 報第9号「中津川市教育支援委員会の結果報告について」は、原案どおり承認とします。

続いて、議第40号「令和6年度中津川市教職員定期人事異動方針について」提案説明をお願いします。

氷室教育次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 もう人事異動の季節なのですね。教育長報告にも人事懇談が5回あると書いてあります。長いこと教育委員をしてもこの流れが分かっていないので、いつ頃から人事異動の件に着手して、どんな流れでいつ頃決まるのかということ、

差し障りのないところで教えてください。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 教育長訪問に行ったときに、校長先生と教育長を含めた人事懇談をいつも行います。年間の中で教職員の持ち味、適性、能力が生かされるように、また、教職員がこれからどんなキャリアステージを描いていくのかということ、個々の職員について丁寧に話がされます。

1 1月末からはいよいよ人事異動に焦点を絞って市の懇談を行い、そして明日から県教委を招いた人事懇談を行います。学校が要望したことが全て通るとは限らないので、市教委を窓口調整しながら、最終的に決まるのが、今度の承認式を行う3月の教育委員会になります。そこまでは、市教委を通していろいろな学校の要望が叶うように、それから教職員の異動が教職員にとって良いものになるように進めていきます。

■教育長 田島委員。

■田島委員 学校長との人事懇談というのは、学校長がその学校にいる先生について「この人をこうしたい」という形のもので、本人は関係ないのですか。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 学校長と教職員は期初面談、期末面談と年間で何回も懇談しているので、その中で教職員の思い、教職員の頑張りどころを学校長は捉えていきます。人事に限ったことだけではなく、教育長訪問の際は、個々の教職員の今頑張っているところや、今後こんなところを頑張っていってほしいという課題点などをお聞きしながら、その方にとって今後どういうキャリアステージがいいのかを話していくことが主になると思います。

■教育長 ほかにありますか。

橋本委員。

■橋本委員 「落合地区と神坂地区の小中学校の統合を見据え」というところで。神坂地区は、卒業式に何回か行ったことがあるのですが、三味線を弾くという伝統があり、子供たちもそれをすごく誇りに思って、地域もすごく応援しているというところがあるように思います。子供たちの学びのために落合地区と合併してという面もあると思うので、それはいいと思います。ただ、学区は地域の文化の区分けという面もあると思うので、大人数で学ぶことの良いところと、それぞれの地域の文化を継承するということとがあり、みんな同じようにしてしまうと特色や文化が薄れてしまう気がします。難しいかもしれないですが、具体的な学習や取り組みは学校長が判断されると思います。今後統廃合があると思うので、その文化の継承や地域の特色を続けていくという学習も続けていただけるとありがたいなと思います。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 橋本委員がおっしゃる通りで、今年度統合した福岡でも、例えば下野の茶摘みは、本当に下野に根付いた教育活動でしたので、統合した後も、下野の茶摘み活動を継承していただくよう、福岡で今年度もやられたと思います。三味線の活動や落合の風流踊りなども融合して、何とか地域の文化や活動が継承されていくよう、統合後学校にそのように伝えていきたいと思っています。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 今の橋本委員のご質問にも関わるかと思いますが「適材を適所に配置し」など文中に「適材配置」という言葉が出てきます。言おうとしていることは大体分かるのですが「こういうところにこういう人を配置したい」という適材適所の具体例を1つでいいので教えていただけるとすっきりします。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 たくさんのケースがあります。例えば、教職員の年齢構成を見ると、若い20代、30代、40代が少なく、50代が多い砂時計型になっています。ここのバランスをうまく配置しないと、若い人や年配の方の良さ、持ち味も生かされなかったり、また30代、40代の方の持ち味も生かされなかったりします。また、男女のバランスもあります。自分の持ち味が小学校で発揮できるという人もいれば、中学校で発揮できるという人もみえます。そういう個々の思いや学校長の思いも聴きながら、多面的に見て配置したいということです。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 人事の問題は、適材適所と一言で言いますが、さまざまな場面や対応を考え、さまざまな人を動かすことで本当に大変だと思います。健康に気を付けて頑張ってください。

■教育長 田島委員。

■田島委員 私の同級生の先生もまだ頑張っています。中津川は、卒業した先生方が再度お仕事に就く率がとても高いという話を聞いています。この度、また卒業される先生方もたくさんおられます。そして、まだまだ頑張っていられる先生方もたくさんいる。その方々の技術と経験というのは本当に大事なことで、それを上手に伝えてほしい。子供たちにとっては身になる良い楽しい授業という形でよく見せていただけますので、できるだけたくさんの卒業の方々にまた職に戻っていただけるように努力をしていただきたいと思います。

それともう一つ、去年もなかったと思うのですが「管理職や管理職への過程」というところで「女性」という字が消えていますね。これは多分意図的だと思います。中津川では女性の登用率は非常に高く、管理職で30%ぐらいなので、もう「女性」

という字はあえて使わないのかなと思って見えています。女性とか男性とか今は言っ
てはいけない世の中になっているのですが、女性の校長や教頭がおられる学校は、
やはり今までと違ったとても素敵などころにスポットがあたり、いい味が出ている
ところを見るので、女性の活躍は本当に大事だと思います。できるだけ後押しをし
ていただけるようによろしくお願いします。

■教育長 事務局から何かお話がありますか。

氷室教育次長。

■氷室教育次長 昨年度、田島委員がおっしゃった通り「女性」というのを異動方
針から消しました。それまでは、校長先生というと男性の中にポツンと女性がいた
のですが、女性の管理職も増えてきましたので、あえて消しました。委員のおっ
しゃったように意識して配置していきたいと思います。

■教育長 いろいろご示唆をいただきありがとうございます。先ほど三尾委員が
言われたように、適材適所というのは便利な言葉なのです。でも、意外と実体がない。
適材だろうと思われる人を適所だろうと想像されるところに置くぐらいの話で、
人事などはやってみないと分からないというところがあります。そこをしっかりと先
読みしたり、その人をしっかりと観察したり、またその人があるパーツとして学校組
織に入ったときにどんな新たな反応が生まれるかを、想像を巡らしてできるだけ丁寧
にやっていると思っています。そういったことの積み重ねが、60歳過ぎて定年
になっても、もう少し教育委員会や子供たちのために頑張ろうということになる。
そういう先生が中津川は比較的多いので、現役のうちに大事にしてきたことが功を
奏しているのかなと思います。大事にするところは大事にする。退職する校長に対
するある種の期待感をしっかりと伝えていくことも大事なので、それは今後も続けて
いきたいと思っています。

ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第40号については、
承認ということによろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第40号「令和6年度中津川市教職員定期人事異動方針について」は、
原案どおり承認とします。

これをもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありが
うございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について、報告してください。

河合事務局次長。

■事務局次長 次回開催日は、令和6年1月24日、水曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

■教育長 次回は、令和6年1月24日、水曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

以上で、令和5年第13回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れさまでした。

[閉 会 (午後2時29分)]